

平成 30 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち						
施策 No.	5	施策名	林業の振興						
主管課名	農林水産課								
関係課名	都市計画課、教育総務課								
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> 健全な人工林が育成され、森林も保全されています。 作業道や林道が整備され、効率的な森林施策が行われています。 林業を担う人材が育ち、生き活きと働いています。 地場産材の需要が拡大し、地場の林業・木材産業が活性化しています。 								
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域等への期待 など	市民 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ぬくもりのある地場産の木材を活用します。植樹など森林を守る活動にも参加します。 事業者は、効率的な森林施策を行いながら地場産木材の需要拡大と担い手の育成に積極的に取り組みます。 							
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 林業生産基盤の整備と林業経営の安定化を図ります。 林業の担い手や後継者育成の支援を行います。 うおづ産材の需要拡大と木材の多面的な活用を検討します。 							
	その他 (地域)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関・団体(森林組合等)と連携して、林業の振興に努めます。 							
施策を実行する うえで基本と なる事業	基本事業①	林業生産基盤の整備強化							
	基本事業②	林業経営基盤の整備強化と担い手育成							
	基本事業③	地場産材の需要拡大							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	13 (13)	13 (13)	13 (13)	15 (15)	16 (16)	13 (13)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	10 (10)	10 (10)	10 (10)	11 (11)	11 (11)	10 (10)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (3)	1 (1)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	67,225	41,421	42,301	84,583	121,219	70,892
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	50,207	30,573	37,539	67,051	57,074	66,441
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	14,918	9,848	3,362	15,532	12,832	2,766
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	2,100	1,000	1,400	2,000	51,313	1,685
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	35	27	27	31	37	28	
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	3,100	2,180	2,620	4,120	4,060	4,020	
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	13,001	9,553	10,954	16,937	16,350	16,128	
F. トータルコスト (B+E)		千円	80,226	50,974	53,255	101,520	137,569	87,020	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)		円	1,527	951	980	1,981	2,863	1,683
	同 上		円	295	219	254	397	386	383
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)		円	295	219	254	397	386	383
	同 上		円	1,822	1,170	1,234	2,377	3,249	2,065
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)		円	1,822	1,170	1,234	2,377	3,249	2,065	
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	4,194	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	44,036	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132

基本事業概要シート①

施策 No.	5	施策名	林業の振興
基本事業名	①林業生産基盤の整備強化		
基本事業の目的(意図)	健全な人工林が育成され、森林も保全されています。作業道や林道が整備され、効率的な森林施業が行われています。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【林道及び作業道の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造林施業を行うための林道や作業道を整備しました。 ◀県単独林業基盤整備事業▶山女線、鹿熊線の改修工事を行いました。 ◀県営林道事業▶県営基幹林道の別又嘉例沢線と福平東城線の開設工事が実施され市負担金(5~10%)を支払いました。 ◀市単独林道事業▶林道の改良2件の工事を行いました。 ◀団体営林道舗装交付金事業▶林道坪野虎谷線の舗装工事(L=514m)を行いました。 <p>【森林整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◀森林総合研究所分収造林事業、市行造林事業▶森林研究所島尻団地(759号)において、4.1haの間伐、作業道280mの整備を行いました。また、市行造林地(室田、南平山)において、0.5haの間伐を行いました。 ◀間伐促進事業▶二ヶ、魚津町地内において、計9.1haの間伐を行いました。 <p>【地域森林管理整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林境界などの基本的な現状の把握が困難となっている山村地域において、調査、測量を行い管理簿を作成しました。(大菅沼、古鹿熊 計 15ha) 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
森林整備面積(累計)	ha	1,836	2,748	2,893	3,150 3,036	3,500 3,176	3,800 3,353	4,100	4,400
作業路延長(累計)	km	85	119	124	125 128	125 135	140 141	145	150

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	森林総合研究所分収造林事業	1,441,000	877,280	563,720	-	農林水産課
2	一般会計	市行造林事業	266,000	266,000	0	-	農林水産課
3	一般会計	○ 間伐促進事業	1,028,000	1,028,000	0	A	農林水産課
4	一般会計	林業施設維持管理費	5,527,000	5,076,327	450,673	-	農林水産課
5	一般会計	森林境界明確化支援事業	675,000	0	675,000	-	農林水産課
6	一般会計	県単独森林整備事業	1,035,000	1,031,017	3,983	-	農林水産課
7	一般会計	○ 県単独林業基盤整備事業	12,791,000	12,249,103	541,897	A	農林水産課
8	一般会計	○ 県営林道事業	23,776,071	17,507,036	6,269,035	A	農林水産課
9	一般会計	○ 市単独林道事業	1,500,000	1,384,525	115,475	A	農林水産課
10	一般会計	○ 団体営林道舗装交付金事業	51,173,000	27,021,600	24,151,400	A	農林水産課
11							
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			99,212,071	66,440,888	32,771,183		

基本事業概要シート②

施策 No.	5	施策名	林業の振興
基本事業名	②林業経営基盤の整備強化と担い手育成		
基本事業の目的(意図)	林業を担う人材が育ち、生き活きと働いています。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	【林業関係団体振興事業】 ・関係団体とともに、次代を担う中核的人材を育成するための体制整備や新規就業者の確保・定着を図るための情報提供・各種研修を引き続き行いました。		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
高性能機械による間伐面積(累計)	ha	29	265	315	420 365	520 406	620 462	720	830
木材加工場の木材売上量	m ³	1,215	1,579	1,186	1,500 1,215	1,900 1,537	2,300 484	2,700	3,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ 林業関係団体振興事業	2,778,000	2,765,773	12,227	A	農林水産課
2							
3							
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			2,778,000	2,765,773	12,227		

基本事業概要シート③

施策 No.	5	施策名	林業の振興
基本事業名	③地場産材の需要拡大		
基本事業の目的(意図)	地場産材の需要が拡大し、地場の林業・木材産業が活性化しています。		
平成30年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【うおづの木利用促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津産材を使用した3件の個人住宅建築に対して、魚津産材を79㎡使用し、計1,075,000円の補助を行いました。 【小学校整備事業(住吉・上中島・松倉統合小学校木造校舎新築事業)】(再掲) ・星の杜小学校の木造校舎新築のため、魚津産材(平成29、30年度合わせて1,044㎡)を活用しました。 【たてもんと全国植樹祭レガシー事業】 ・「たてもんの森」プロジェクト植樹祭において、スギ・ヒノキ・ケヤキ 240本/年を植樹しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
うおづの木利用促進事業における魚津産木材の使用量	㎡	115	53	93	236 116	252 118	268 79	284	300

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成30年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ たてもんと全国植樹祭レガシー事業	610,200	610,200	0	A	農林水産課
2	一般会計	○ うおづの木利用促進事業	1,075,000	1,075,000	0	B	都市計画課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			1,685,200	1,685,200	0		

施策 No.	5	施策名	林業の振興
平成30年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①林業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆林道等の林業生産基盤の整備については、大幅な事業量は見込めない中で、関係機関との調整を行い優先順位を定めて進めています。作業道については、目標値を超えています。 ◆森林整備は増加しましたが、目標値を下回っています。森林は、公益、多面的機能を有する資源であり、適切な管理を行っていく必要があります。 <p>【②林業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新川森林組合が3市2町(魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町)に係る森林整備を一体的に担っており、広域的な森林管理や整備を行っています。人手不足の解消、作業の効率化、木材搬出等の強化のための高性能林業機械の導入を図っていかなければなりません。間伐面積は増加しましたが、目標値には達していません。 ◆木材加工場における木材の売上量は、木材価格の低迷等が要因となり、平成27年度に減少に転じ、また、県事業の海岸林防風柵設置事業において丸材を使用していたが、平成30年度からは、角材に変更となり新川森林組合木材加工場での生産がなくなったため、目標値を大きく下回ることとなりました。 <p>【③地場産材の需要拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆星の杜小学校校舎新築事業における魚津産材の使用に努めました。 ◆うおづの木利用促進事業における魚津産材の使用量は目標値に達していません。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成30年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①林業生産基盤の整備強化】</p> <p><県単独林業基盤整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆山女線、鹿熊線を整備しました。 <p><市単独林道事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆林道の改良(2件)の工事を行いました。 <p><地域森林管理整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆森林境界などの基本的な現状の把握が困難となっている小川寺、大菅沼、古鹿熊地内において、調査、測量を行い、管理簿を作成しています。(繰越) 森林境界を明確にすることで、木材の搬出や森林管理・施業実施に役立ちます。 <p><団体営林道舗装交付金事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆林道坪野虎谷線の舗装工事(L=514m)を行いました。 <p>【②林業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <p><森林整備加速化・林業再生事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆3市2町(魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町)により、新川森林組合が木材の安定供給体制を図るために行った高性能林業機械(フェラバンチャーグラブ付バックホウ)の導入に対する支援を行っていることで、木材搬出の効率化が図られました。 <p>【③地場産材の需要拡大】</p> <p><うおづの木利用促進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津産材使用に対する支援を、3件の個人住宅建築に対して行いました。 <p><住吉・上中島・松倉統合小学校木造校舎新築事業>(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆星の杜小学校の木造校舎新築のため、魚津産材(平成29、30年度合わせて1,044㎡)を活用しました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①林業生産基盤の整備強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆森林は、公益、多面的機能を有する資源であり、適切な管理を行っていく必要があります。国や県事業の活用や市単独事業により林道や作業道の整備を行い、森林整備計画に基づき、「森林施業の実施」や「効率化や生産性向上のための生産基盤整備」を推進していきます。 ◆森林の所有者や境界などの森林整備の基礎的データを整備し、計画的な整備を進めます。また、森林法に基づき林地台帳の整備を進めます。 ◆森林経営管理法の施行にあわせ、森林環境譲与税を財源として森林整備等を進めます。 <p>【②林業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆林業の活性化のため、新規担い手の育成、確保が求められています。 ◆循環型林業の実現や素材生産量の確保のため、必要に応じて新川森林組合の高性能林業機械の導入に対して支援を行います。 <p>【③地場産材の需要拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆林業経営者の所得確保のためには、魚津産材の消費拡大が重要であるものの、活用件数が少ないことや事業効果を踏まえて、制度内容の見直しを行います。 ◆「第68回全国植樹祭」の開催を契機に、魚津の森づくりの取組を進めます。 			

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆林道や作業道の維持管理や整備を推進するとともに、境界等の基礎的データを整備し適切な森林管理に努めること。 ◆林業経営の効率化、安定を図るとともに、森林組合など林業関係団体と連携して担い手の育成に努めること。 ◆うおづの木利用促進事業の効果や利用実績等を踏まえて、制度内容を検討すること。 ◆「第68回全国植樹祭」の開催を契機に、今まで以上に森林保全や緑化活動に努めること。 ◆森林経営管理法の施行にあわせ、森林環境譲与税を財源として森林整備等を進めること。
---	---

<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆林道や作業道の維持管理や整備を推進し、境界等の基礎的データを整備するなど適切な森林管理を行います。 ◆うおづの木利用促進事業の利用実績等を踏まえて、制度内容を検討します。 ◆地場林業の活性化のため、担い手の育成や確保に取り組みます。 ◆「第68回全国植樹祭」の開催を契機に、今まで以上に森林保全や緑化活動に努めます。 ◆森林経営管理制度の開始にあたり、市と関係組織の役割分担を整理し、森林経営管理を実施していきます。
---------------------------------	---